

seca 657

EMR ready デジタル ストレッチャー用スケール (検定付) ㊦

EMR-integrated



- キャスターやタイヤ付きのあらゆる製品に対応可能な広い計量台
- 安定した設計で、300 kgまで測定可能
- ホイール間隔が145 cmまでのストレッチャーに対応可能
- ストレッチャーの重量を記録するメモリー機能搭載で患者の正確な体重を測定

seca 657:

あらゆる場面での正確な測定

病院への緊急入院、緊急外来などでは、全ての処置が素早く的確に行われなくてはなりません。特に、手術を必要とする場合などは、麻酔薬の量を正しく確定する為に患者の体重の測定が必要不可欠です。車搭載用ストレッチャーや病院内のストレッチャーの上の患者の体重測定もseca 657なら問題ありません。計量台は、ホイール間隔が145cm以下のタイヤ付きのあらゆる移動用製品に十分対応でき、ストレッチャーのみならず車椅子や歩行可能な患者の体重測定にも活用できます。

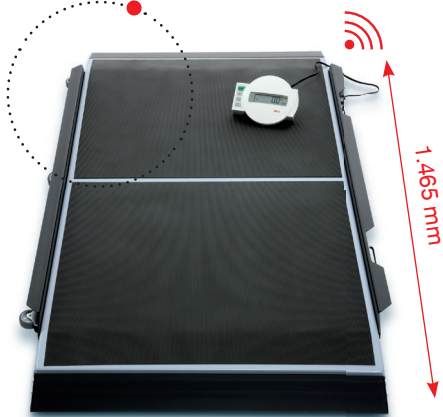


安定設計で300 kgまで計測可能

その極めて安全な設計と、300 kgという大きな最大計量によって、体重の重い患者でもseca 657で簡単に測定できます。その計量台は、車椅子はもちろん、ストレッチャーなどのタイヤ付き (ホイール間隔が145 cm以下) のあらゆる移動用製品に対応できるような大きさに設定されています。

※大型の体重計は移動することを前提に製造されており、移動を頻繁に行うと故障の原因となりますのでご注意ください。また移動用のキャスターは止むを得ず移動が必要な際に移動をサポートするものなのであらかじめご了承くださいませ。

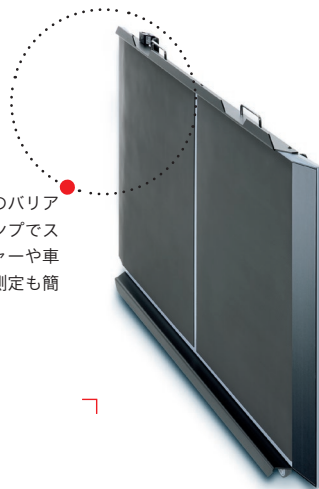
3つのキャスターは止むを得ず移動が必要な際に体重計の移動をサポートします。



様々な付加機能のあるケーブルリモートディスプレイ

読み取りやすいLCD表示で、高性能なケーブルリモートディスプレイは、テーブルに置いたり、目の位置の高さに合わせて壁にかけたり、別売オプションのディスプレイスタンド (seca 472) に取り付けたり、お使いになる場所のスタイルに合わせることができます。ホールド機能により、測定値は保持され、記録する前にまず、患者のお世話をすることができます。seca 657の風袋引き機能を応用した便利な使い方をご紹介します。ストレッチャーと患者の総重量をまず測定します。その後風袋引き機能を使い、患者とストレッチャーの総重量を0.0 kgにして降り、患者を手術台などに乗せた後、再度ストレッチャーを測定台に乗せると、ストレッチャーの重量を差し引いた患者のみの体重が表示されます。プリセット風袋機能では、補助装置などの付加重量をあらかじめ総重量から差し引くことができます。また、BMI機能によって、この患者の栄養状態を確認することもできます。

標準装備のバリアフリーランプでストレッチャーや車椅子での測定も簡単です。



seca電子カルテ連動ソリューション：仕事の流れを改善する方法

seca 657は病院の電子カルテシステムにネットワークを介して測定値を統合できます。seca 452を介して測定値は電子カルテへ直接送信され、即座に全てのユーザー端末で確認可能となります。外付けのバーコードスキャナーを取り付けることにより、患者と利用者双方を確認することができ、測定結果は常に正確に登録されます。これにより時間を節約し、プロセスの信頼性を向上し、通信エラーを排除します。(別途費用) seca電子カルテ連動ソリューションに関するお問い合わせはこちらへ：info@seca.co.jp

seca 657

Technical Data

- 最大計量: 300 kg
- 表示単位: 200kgまで100g、200kg以上200g
- 風袋引きレンジ: 300 kg
- サイズ(WxHxD): 893 x 87 x 1,655 mm
- 計量台サイズ(WxHxD): 800 x 55 x 1,465 mm
- 重量: 46.2 kg
- 電源: ACアダプター
- 機能: 風袋引き機能、プリセット風袋機能、ホールド機能、オートホールド機能、オートレンジ機能、BMI機能、ダンピング機能、送信機能
- 別売オプション: ディスプレイスタンドseca 472
- 精度等級: 3級

システム連携: すべての電子カルテシステム (EMR) そしてsecaのEMR ready製品と連動可能です。ただし、EMRとの連動については別途費用が必要となります。詳細についてはお気軽にお問い合わせください。